



桜ふわり

S a k u r a F u w a r i

2025
summer

Vol.28



<表紙の写真>

Rehabeat

桜十字病院では、新たに心臓リハビリ室を開設し、「Rehabeat (リハビート)」として始動しました。専門性の高い多職種チームが連携し、心臓リハビリで皆さまの再スタートを支えます。

詳細記事→P04 へ

桜十字グループ創立20周年

ウェルビーイングフロンティア

4月新入職

新入職医師ご挨拶

外来紹介

リウマチ膠原病内科

◎リハビリ

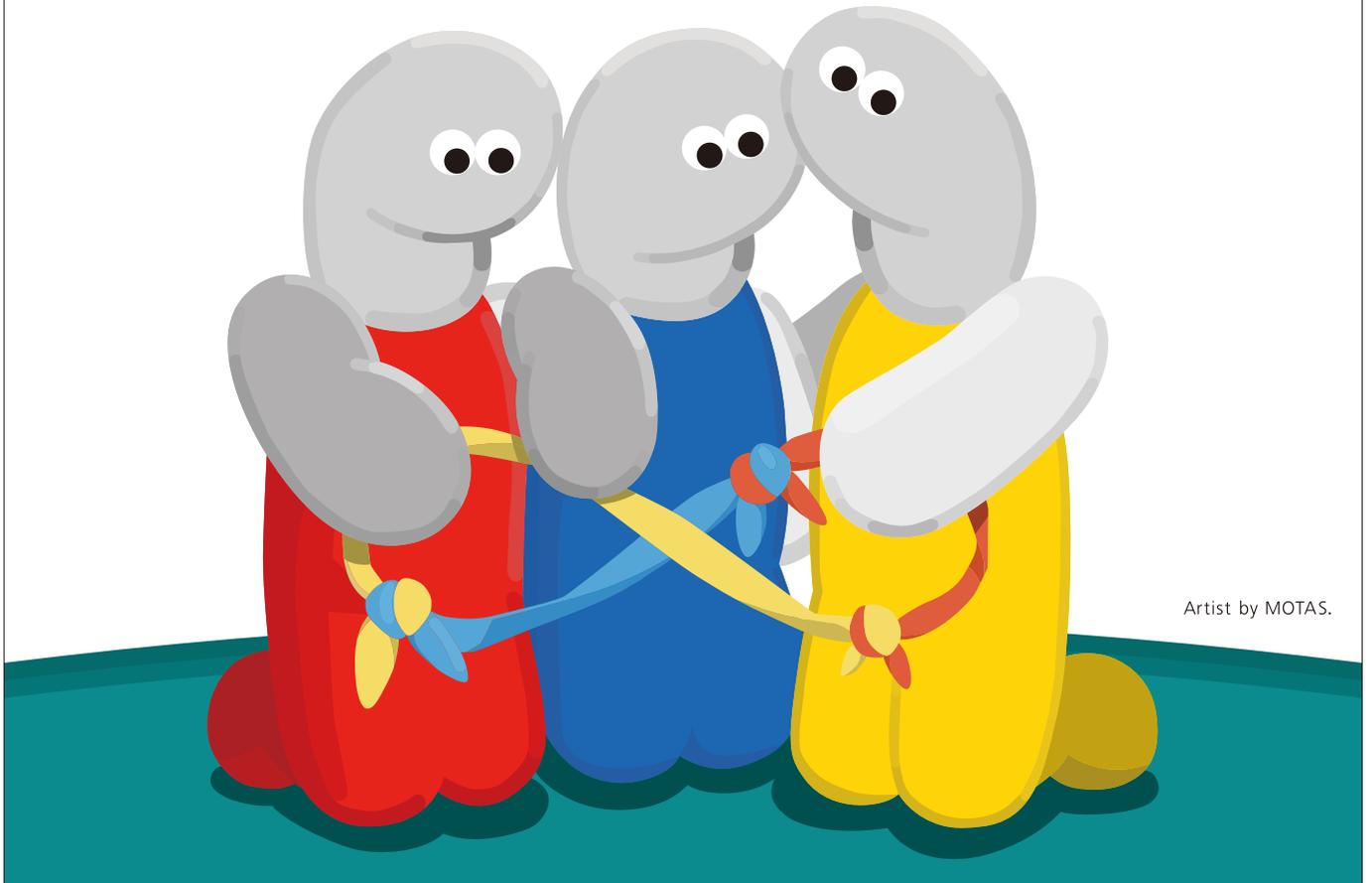
桜十字の心臓リハビリテーション

Rehabeat

- ・NEWS TOPICS
- ・WELL-BEING 通信
- ・協力医療機関の医師紹介
- ・地域連携室からのご案内

WELL-BEING FRONTIER

人生 100 年時代の生きるを満たす。



桜十字グループは創立 20 周年

次の10年へ

桜十字グループは、2025年に創立 20 周年を迎えました。これまで私たちは“生きるを満たす。”という言葉に胸に、2005年の創業から最初の10年を「メディカルグループ」として歩みを進め、その後、社会のニーズに応えるため「ヘルスケアグループ」として次の 10 年を成長してまいりました。そして、この節目の年、これからの 10 年を見据えた新たなスローガンが誕生しました。それが「WELL-BEING FRONTIER(ウェルビーイング・フロンティア)」です。

「ウェルビーイング」とは？

「ウェルビーイング」という言葉は、WHO(世界保健機関)が設立された際、WHO憲章前文において、健康を定義づける言葉として登場しました。身体的・精神的・社会的に、良好で満たされた状態を意味し「幸福」と訳されることも多い言葉です。

Health is a state of complete physical, mental and social well-being and not merely the absence of disease or infirmity.※1

健康とは、病気ではないとか、弱っていないということではなく、身体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあることをいいます。

※1：WHO（世界保健機関）HP
<https://www.who.int/about/governance/constitution>

キービジュアルに込めた想い

「ウェルビーイング フロンティア」を体現するキービジュアルも、新たに制作されました。アートユニット「MOTAS.」と共に制作した作品のタイトルは「紡ぐ(Tsumugu)」。未来への無限大の可能性や人々のつながりを表現しています。二人が描くアートにはどれも、“どんな状況でも明日はあり、何かを背負いながら生きていく”という意味が込められています。これは心や体に悩みを抱えながらも前を向いて生きる方々と日々向き合っている医療の現場とも重なります。桜十字は「生きるを満たす。」ことを掲げ、「WELL-BEING FRONTIER」を目指していく。綺麗ごとだけじゃない、「生きる」ことへの想いを込めたクリエイティブによるキービジュアルとなっております。

Sakurajyuji Well-being Media



放送開始：2025年2月1日（土）
放送日時：毎週土曜日 10時25分～
放送局：TKU テレビ熊本

出演者：ウェルビーイングの最前線で活躍する桜十字グループの専門スタッフ達
テーマ：「WELL-BEING FRONTIER 人生100年時代の生きるを満たす。」
見逃し配信：桜十字グループ YouTube にて配信 ▶



YouTube

TKU 番組「WELL-BEING FRONTIER 人生100年時代の生きるを満たす。」放送 START

これからの桜十字が目指す「WELL-BEING FRONTIER」をテーマに、専門知識や先進技術を持ち合わせた桜十字スタッフが、QOL向上のためのライフハックをみなさまにご提案します。科学的根拠に基づいたアドバイスで、日々のストレスを軽減し、より充実したライフスタイルの実現が可能に。医療・介護を軸に、カラダだけではなくココロも満たす番組「WELL-BEING FRONTIER」が、あなたの人生をより楽しく、より豊かにするヒントをお届けします。



桜十字グループ HP に 「WELL-BEING FRONTIER PAGE」開設

ウェルビーイングの本質を誰もが直感的に理解できるコンテンツを発信しています。

「ウェルビーイングってなに?」「キービジュアルについて知りたい!」「桜十字ってどんなことしてるの?」といった気になるポイントを解決できるのがこのサイトです。ぜひ一度、桜十字が考えるウェルビーイングの世界をのぞきにきてください。



WELL MOMENT
桜十字広報が見つけた
日常のウェルビーイングを紹介



Instagram



Facebook

桜十字グループ公式 SNS をはじめました!

桜十字グループの公式 Instagram・Facebook がついに始動しました!ここでしか見られない桜十字ならではの“ウェルビーイング”な情報を随時発信予定。人生100年時代の生きるを満たす。その最前線から幸せや感動の瞬間をシェアするアカウントです。あなたの毎日に、新しいウェルビーイングの気づきをお届けします。

ぜひフォローして、今後の投稿を楽しみにお待ちください!



こころ、はずむ。からだ、ととのう。

動き出す Rehabeat 桜十字の心臓リハビリテーション新たなステージへ



Rehabeat Well-being Concept

心臓が刻む一拍一拍は、まさに人生そのもの。

その鼓動を整えることは、生きる力を取り戻すことにほかなりません。

リハビートは、心臓病を経験されたあなたが、

ふたたび自分らしい歩みを取り戻すための場所。

こころが軽くなり、体が自然と動き出す

そんなポジティブな再スタートをサポートします。

Rehabeat とは

「rehabilitation」と「beat（鼓動・リズム）」を掛け合わせた言葉です。

回復の歩みを、心地よいビートで支えていきたいという想いが込められています。

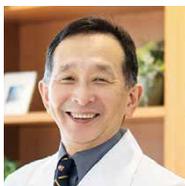
もう一度、自信を持って歩き出すために。

近年、心不全の患者は、高齢化の進行にともない増加の一途をたどっています。循環器医療の現場において、心不全への対応は喫緊の課題であり、その重要性は年々高まっています。こうした現状をふまえ、桜十字病院ではこのたび、心臓や血管に疾患をお持ちの皆さまの健康維持と、生活の質の向上を目指し、新たな心大血管疾患リハビリテーション「Rehabeat(リハビート)」をスタートいたしました。

リハビートでは医学的評価をはじめ、運動療法・患者教育・カウンセリング・疾患管理といった包括的なアプローチを、一人ひとりの状態に合わせて長期的におこなっていきます。私たちが目指すのは、退院や日常生活への復帰にとどまらず、再発の予防、そして人生の再スタートを力強く支えることです。

また、当院では多職種によるチーム医療で、患者さん一人ひとりに寄り添いながら支援をおこなっております。自分らしく過ごせる毎日を取り戻し、もう一度自信を持って歩き出せるよう、私たちは全力でサポートしてまいります。

地域の皆さまに信頼される医療をお届けするため、スタッフ一同、誠心誠意努めてまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくごお願い申し上げます。



Rehabeat 統括医
専門 循環器内科
いとう てるひこ
伊藤 彰彦

【経歴】

熊本赤十字病院 第二循環器内科 部長
日本内科学会認定医・総合内科専門医
日本循環器学会専門医
日本高血圧学会専門医
日本心血管インターベンション学会専門医
埋込型補助人工心臓管理医
日本緩和医療学会緩和医療認定医
心臓リハビリテーション指導士
医学博士

【所属学会】

日本心臓リハビリテーション学会
日本心不全学会
日本緩和医療学会 など



桜十字病院の心臓リハビリテーション指導士たち

桜十字病院の心臓リハビリテーション指導士 7名在籍

当院には、統括医の伊藤医師を含める7名の心臓リハビリテーション指導士が在籍し、専門性の高いサポートを常に提供する体制が整っています。循環器内科の医師3名を中心として、看護師・理学療法士・臨床検査技師・臨床工学技士・社会福祉士・薬剤師・管理栄養士などの多職種が連携し、安心して心臓リハビリに取り組める環境を支えています。



リカンベント型エルゴメーター

CPXからはじまる、Rehabeatの心リハ環境

心リハの起点となるのが、心肺運動負荷試験(CPX)です。患者さまの運動耐容能を数値化し、安全かつ効果的な運動強度を設定しています。検査には「アップライト型エルゴメーター」に加えて、身体への負担が少ない「リカンベント型エルゴメーター」も導入。姿勢が安定しやすいため、より幅広い患者さまに対応できる環境を整えています。

CPX検査後のリハビリでは、エルゴメーターでの有酸素運動とトレーニングマシン等によるレジスタンストレーニングを実施。心臓への負担に配慮しながら、日常生活に必要な能力の回復をサポートします。

リカンベント型エルゴメーター

背もたれ付きで安定性が高く、腰や膝への負担が少ない座位型のエルゴメーターです。高齢の方や関節に不安のある方、体力に自信のない方でも無理なく使用できます。

HUR(空圧式筋力トレーニングマシン)

高齢者や心疾患のある方でも安全に使える設計が、世界中で評価されている空圧式マシン。身体機能の回復を支えながら、再発予防や生活の質の向上をめざすトレーニングに適しています。



HUR(空圧式筋力トレーニングマシン)

2025年秋、外来心リハ・CPX検査のご紹介受付をスタート!

現在は入院患者さまのみを対象としておりますが、今秋より、外来での心臓リハビリテーションおよび心肺運動負荷試験(CPX)などの検査についても、近隣医療機関からのご紹介受付を開始いたします。入院・通院を問わず、患者さまのご紹介や心臓リハビリ・検査のお申し込みは、当院の地域連携室までお気軽にお問い合わせください。



2025年4月新入職医師のご紹介



甲斐 信／整形外科

かい まこと

みなさんこんにちは。この4月より入職しました甲斐と申します。専門は整形外科で、今年の初めまで県北で診療所をやっておりました。

長年の診療所の治療を通して学ばせていただいた事は、予防の大切さです。

腰痛、肩こり、脊椎のドミノ骨折など整形外科疾患の中には、事前に予防することで、ある程度防げることがあります。

人生100年時代です。笑顔で過ごせる痛みの少ない毎日を送れるような、お手伝いをさせていただけたらと思います。

どうぞよろしくお願いたします。

【経歴】

熊本大学病院
水俣市立病院
公立玉名中央病院(現くまもと県北病院)
荒尾市民病院
昭和大学藤ヶ丘病院
熊本リハビリテーション病院
かもと整形外科病院



島田 政博／整形外科

しまだ まさひろ

2025年4月に入職しました、島田と申します。天草中央総合病院、天草地域医療センター、苓北医師会病院の医療機関で整形外科として30年以上、地域医療に関わってきました。熊本市内の病院は研修医、レジデントのとき以来で、40年以上も前になり、戸惑う毎日の連続です。笑顔で退院される患者さまの顔を見るのが、医療人としての一番の楽しみです。そのために、日々精進してまいりたいと思います。今後ともよろしくお願いたします。

【経歴】

天草郡市医師会立苓北医師会病院 院長
天草郡市医師会立天草地域医療センター
↳整形外科医長・理学診療科医長
天草中央総合病院 理学診療科部長
佐賀医科大学医学部付属病院
↳外科学整形外科 文部教官
熊本大学医学部付属病院 整形外科
国立療養所三角病院 整形外科

整形外科の外来診療を始めました／完全予約制

診療時間：火曜日 9：00～12：00

水曜日 13：00～17：00

お問い合わせ **096-378-1111**

※自動音声ダイヤルの案内に従って①→②を押してください

リウマチ膠原病内科担当医

なかむら ただし
院長補佐 **中村 正** 医師



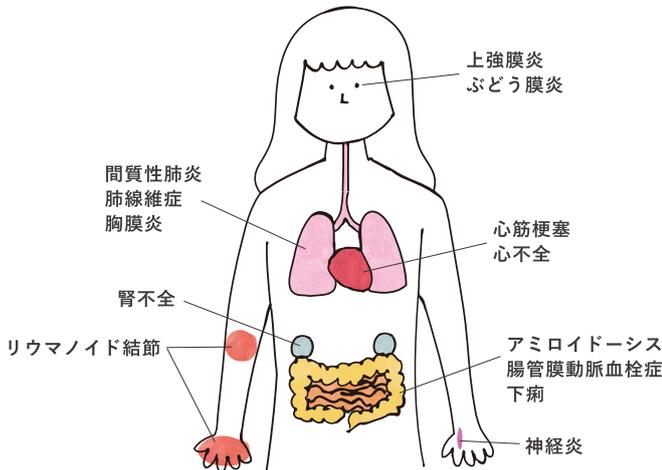
- 専門 内科・リウマチ膠原病内科
- 経歴 医学博士
日本内科学会・総合内科専門医
日本リウマチ学会・リウマチ指導医
日本血液学会・血液指導医

リウマチ膠原病内科の外来診療を担当しています。関節リウマチをはじめとしたリウマチ膠原病は、体の抵抗力を司る免疫システムの異常により、異常リンパ球が自分の体に対し攻撃することで炎症が生じ、特定の臓器ではなく複数の臓器横断的な障害がおこる全身性の病気です。近年、病気の原因や仕組みの解明がされつつあり、新しい治療薬も次々と登場しています。それによって、早期診断・早期治療で通常通りの社会生活を送ることが可能となりました。桜十字病院では、こうした最新の知見を活かした診療とサポートに取り組んでいます。発熱、倦怠感、湿疹、しびれなど、改善されない症状がみられるときは気軽にご相談ください。

リウマチ膠原病について

リウマチ膠原病とは、免疫の仕組みの異常を基盤として生じる疾患群の総称です。関節リウマチをはじめ、シェーグレン症候群、全身性エリテマトーデス、特発性炎症性筋疾患、強皮症、血管炎症候群など、多くの疾患が含まれます。これらの疾患では、本来は外敵を攻撃するはずの免疫システムが、自分自身の組織や臓器を「異物」と誤認し攻撃してしまい、慢性の炎症や障害が生じます。その特徴は、特定の臓器にとどまらず、臓器横断的な全身性の炎症を伴うことです。関節の痛みがきっかけとなることもあれば、皮膚症状や呼吸器症状、腎機能異常、神経症状などが初発症状となることもあり、症状の現れ方は疾患によってさまざまです。そのため、患者本人も周囲の医療者も「どの診療科を受診すべきか」に迷うことも少なくありません。

リウマチ膠原病でみられる主な症状



初期症状と気づきの難しさ

リウマチ膠原病の初期症状は、非常にあいまいです。微熱や倦怠感、関節のこわばり、皮膚の違和感、体重減少など、風邪や更年期症状、加齢性変化などと区別がつきにくい症状が多く見られます。そのため、「齢のせいかな」「疲れがたまっているだけ」と見過ごしがちで、病気と認識できない場合が多くあります。単なる関節痛や風邪のような倦怠感が長く続くこともあり、そうした症状が数週間以上持続するようなら、リウマチ膠原病の可能性を考慮することが必要です。こうした「不調のサイン」に気づけるかどうか、リウマチ膠原病の診療では非常に大切なポイントです。



治療の進歩

以前は「難病」という印象が強かったリウマチ膠原病ですが、近年、免疫学や分子生物学の研究の進歩により、診断と治療の両面で飛躍的な進歩がみられています。たとえば関節リウマチでは、早期からのメトトレキサートを中心とした治療で関節破壊の進行を抑制し、寛解(症状がほとんど出ない状態)を目指すことが可能になりました。さらに、生物学的製剤や JAK 阻害薬など分子標的薬の登場により、個々の病態に応じた治療の選択肢が広がり、リウマチ医療は標準化から個別化に深化しつつあります。最近では様々な免疫抑制薬を併用して、臓器障害を最小限にとどめるため専門的な治療が進められています。病勢を抑えながら、患者の「生活の質」向上を目的とした医療が展開されています。

早期診断・治療の重要性

リウマチ膠原病は、早期に診断され適切な治療がなされると今後の改善が期待できます。早期の治療により病状の進行を抑え、寛解を導入し維持します。早期の段階では他の疾患との鑑別が難しく、複数の診療科を受診している間に症状が進行してしまうことも珍しくありません。だからこそ、少しでも気になる症状があればリウマチ膠原病の可能性を視野に入れ、早めに専門医に相談してみてください。早期診断と治療が、病気と向き合うための第一歩となります。

論文が日本リウマチ学会誌に掲載されました！

本論文に関する詳細は、病院ホームページよりご覧いただけます。
<https://www.sakurajyuji.or.jp/news/?p=8165>





VOLCAFE(ヴォルカフェ)が 1周年を迎えました!

昨年9月、filcafe から「熊本ヴォルターズコラボカフェ」としてリニューアルオープンした「VOLCAFE (ヴォルカフェ)」が、おかげさまで1周年を迎えます。オープニングイベントやイルミネーション点灯式にあわせて開催したさまざまな催しには、患者さまをはじめ多くの地域の皆さまやブースターの方々に足をお運びいただき、心より感謝申し上げます。これからも病院を訪れる皆さまがほっとひと息つける場所として、そしてヴォルターズを応援するファンの交流の場として、より一層親しまれるカフェを目指してまいります。変わらぬご愛顧を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。



VOLCAFE(ヴォルカフェ)

営業時間：平日 10：00～18：00 (日祝定休日)

※土曜日は不定期営業

詳細は Instagram をご覧ください



VOLCAFE instagram ▲

院内売店が「ローソン」に リニューアルオープン!

7月1日、桜十字病院の院内売店が、コンビニエンスストア「ローソン」として新たにオープンしました! 飲料や食品、日用品、雑誌など、より充実したラインナップで、患者さま・ご家族・スタッフ・地域の皆さまにとって、さらに便利にご利用いただける店舗へと生まれ変わりました。オープン当日には、ローソンのマスコットキャラクター「ポンタ」くんが来店! 桜十字病院の「さくらちゃん」「十字郎くん」と一緒に、店頭でオープニングイベントを盛り上げてくれました。患者さまとの記念撮影も行われ、にぎやかで笑顔あふれる1日となりました。新たにオープンしたローソンが、皆さまの日常にちょっとした楽しさと便利さをお届けできる存在になれば幸いです。



ローソン S 桜十字病院店

営業時間

平日 10：00～17：00 (7時間)

土日祝 10：00～14：00 (4時間)

入院らくらくセット取り扱い開始

さくら館1階に新しくオープンしたローソンにて、入院生活をサポートする「入院らくらくセット」の取扱いを開始しました。「入院らくらくセット」は、病衣やタオル、洗面用具などの衛生日用品をひとつにまとめ、日額の定額制でレンタルできるサービスです。常に清潔な状態のものをご利用いただけるため、ご自宅での洗濯の負担を軽減でき、安心して入院生活を送ることができます。

〈ご利用にあたって〉

- ・お申し込みは、さくら館1階のローソンにて承ります。
- ・ご利用料金は、入院費とは別途のお支払いとなります。
- ・ご契約者様宛に、毎月末締めで請求書を郵送いたします。

患者さまの快適な入院生活に、ぜひご利用ください。



A セット	病衣・タオル・日用品
	日額 635 円(税別)

B セット	病衣・タオル
	日額 520 円(税別)

C セット	日用品
	日額 250 円(税別)

【日用品のラインナップ】

歯ブラシ / 歯磨き粉 / コップ
ボックスティッシュ / おしりふき

【オプション品】

使い捨てエプロン 9枚入 275円(税別)

スポンジブラシ 475円(税別)

入れ歯洗浄剤『タフデント 48錠』560円(税別)



入院セットについて
詳しくはこちら▲

糖尿病患者さまの“自分らしい療養”を支えるために — 「熊本桜の会」の取り組み紹介

桜十字が糖尿病をお持ちの患者さまに向けて実施している「熊本桜の会」は、今年で3年目を迎えました。この会では、年に4回、入会されている患者さまを対象に、日常生活で気をつけたいことを各専門職の視点からお伝えする講演会を開催しています。なかでも食事療法をテーマにした企画では、桜十字病院の社員食堂のメニューを実際に体験いただきながら、「何を」「どのくらい」食べるべきかを考える機会を設けています。楽しみながら学べるこの体験型プログラムは、患者さまからも大変好評です。



熊本桜の会講演会の様子(2025年3月)

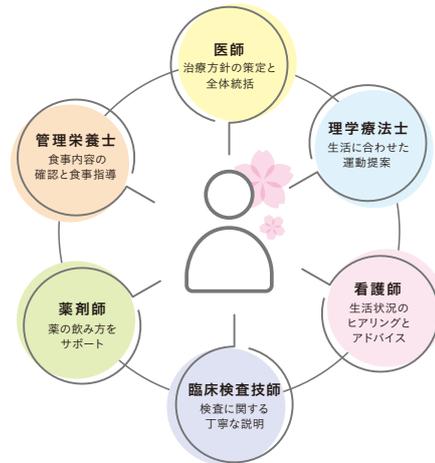
今年度は、スタッフ・患者さまを合わせて19名が参加。会を支えるスタッフには、熊本地域糖尿病療養指導士6名に加え、日本糖尿病療養指導士として20年継続表彰を受けたベテランスタッフも在籍しており、高い専門性と経験に基づいたサポー



熊本桜の会メンバー
栄養管理部 西久保科長
(日本糖尿病療養指導士/
熊本地域糖尿病療養指導士)

トを行っています。

また、今年4月からは多職種スタッフが月に一度集まり、患者さまの療養状況や課題について話し合う「症例カンファレンス」をスタートしました。これは、医師、看護師、管理栄養士、理学療法士、薬剤師、臨床検査技師が連携し、患者さま一人ひとりに最適な療養支援方法を検討する場です。さらに、治療がなかなか進まない患者さまには、採血などの待ち時間を活用して、看護師、栄養士、理学療法士、薬剤師が個別に聞き取りやアドバイスをを行う新たな支援体制も整えています。これら多職種連携による取り組みが、患者さまの療養生活をよりきめ細かく支え、治療への前向きな一歩を後押ししています。今後も熊本桜の会は、患者さま一人ひとりが「自分らしく」糖尿病と向き合えるよう、チーム一丸となって支援してまいります。



糖尿病療養を支える多職種連携のかたち

専門性と貢献が評価 桜十字病院の医師2名が認定・表彰を受けました

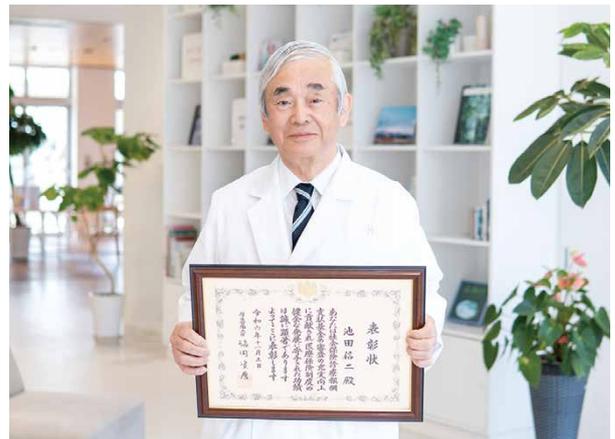
倉津純一院長
ドクター オブ ドクターズ ネットワーク®
優秀専門臨床医™認定

桜十字病院の倉津純一院長が、「ドクター オブ ドクターズ ネットワーク® 優秀専門臨床医™」に認定されました。この認定は、医師や専門家が「自分や家族を任せたい」と推薦する医師の中から、厳正な審査を経て選ばれるものです。倉津院長の高度な専門性と、患者さま一人ひとりに真摯に向き合う姿勢が高く評価されました。今後も倉津院長のリーダーシップのもと、質の高い医療提供とウェルビーイングの実現を目指し、地域医療に貢献してまいります。



池田信二特別顧問 厚生労働大臣表彰を受賞

桜十字病院特別顧問の池田信二医師が、「令和6年度 社会保険診療報酬支払基金関係功績者 厚生労働大臣表彰」を受賞されました。この表彰は、医療保険制度の充実に長年尽力された方に贈られるものです。池田先生は25年以上にわたり審査委員を務め、専門知識と豊富な経験に基づく公正な判断で信頼を集めてこられました。「これからも研鑽を重ね、制度の発展に貢献していきたい」と語る池田先生の姿勢は、桜十字病院全体の士気向上に繋がっています。





WELL-BEING 通信

Vol.1

人生 100 年時代において、身体的・精神的・社会的に“生きるを満たす。”
桜十字グループのウェルビーイングな取り組みをご紹介します。

WELL-BEINGの花を咲かせようプロジェクト



桜十字グループは 2025 年春、「WELL-BEINGの花を咲かせようプロジェクト」を実施しました。全国の病院や予防医療センター、オフィスなど、さまざまな方が訪れる掲示会場に桜のメッセージカードを設置し、皆さまの“ウェルビーイングな夢”を花びらに託していただきました。患者さま、ご家族、健診ご利用者さま、スタッフなど多くの方々にご参加いただき、満開の夢の桜が各地に咲き誇りました。

「WELL-BEING FRONTIER」として、一人ひとりが夢や目標を持ち、その人らしい生き方を実現できる未来を目指す桜十字。“夢の桜”に込められた誰かの想いを目にしたとき、「パワーが湧いてきた」「自然と笑顔になれた」といった感動の声が数多く届きました。誰かの夢に触れることで、自分の中にも前向きな想いが芽生え、可能性が広がっていく。その力の大きさを、改めて実感する取り組みとなりました。これからも桜十字は、すべての人の夢とウェルビーイングを、全力で応援し続けます。

《実施拠点》

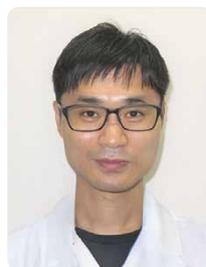
- ・桜十字病院(熊本県熊本市)
- ・メディメッセ桜十字(熊本県熊本市)
- ・桜十字八代リハビリテーション病院(熊本県八代市)
- ・桜十字福岡病院(福岡県福岡市)
- ・東京オフィス(東京都港区)
- ・熊本ヴォルターズホーム戦



協力医療機関の医師紹介

桜十字病院との連携で地域医療に貢献

2024 年 6 月に嘉島町のイオンモール熊本のすぐ横のよしむら内科・循環器科を引き継ぎ、嘉島さいとう内科クリニックを開院しました。当院では、特に内視鏡および専門的な腹部診療に注力しています。内視鏡に関しては、約 100 倍の拡大観察が可能な内視鏡機器を用い、精度の高い内視鏡検査や日帰り大腸ポリープ切除を行っています。また楽に内視鏡検査を受けて頂けるよう、検査中は、空気に比べて吸収が 100 倍以上速い炭素ガスを使用しています。専門的な腹部診療を行う際には CT 検査が必須で、いつも桜十字病院に依頼させて頂いています。検査依頼も電話 1 本でとても簡便で、すぐに撮影して頂けるので大変助かっています。また大腸ポリープ切除後の経過観察入院なども快く引き受けて頂き、ありがとうございます。今後も桜十字病院と密に連携し、患者さんのためになる医療を提供し続けたいと思っています。



齊藤 宏和 先生

【経歴】
 2008 年 3 月 熊本大学医学部医学科卒業
 2008 年 4 月 - 2010 年 3 月 熊本赤十字病院 初期臨床研修医
 2010 年 4 月 - 2011 年 3 月 熊本大学病院 消化器内科
 2011 年 4 月 - 2014 年 3 月 済生会熊本病院 消化器内科
 2014 年 4 月 - 2016 年 9 月 熊本市市民病院 消化器内科
 2016 年 10 月 - 2020 年 3 月 熊本中央病院 消化器内科
 2020 年 4 月 - 2024 年 3 月 熊本市市民病院 消化器内科 医長
↳ 兼 内視鏡センター副センター長
 2024 年 6 月 - 嘉島さいとう内科クリニック 院長

嘉島さいとう内科クリニック

【診療科目】 内科・胃腸内科・消化器内科・循環器内科
 【診療時間】 月・火・木・金 9:00-12:00 / 14:30-18:00
 水 9:00-12:00 / 13:00-15:00
 土 9:00-13:00

【休診日】 日曜日・祝日・年末年始
 【住 所】 熊本県上益城郡嘉島町上島 2299-1

☎ 096-235-7773



公式 HP



地域連携室からのご案内

入院のご相談、お問い合わせにつきましては地域連携室の看護師、社会福祉士が対応いたします。当院地域連携室は地域の医療・福祉に関するあらゆる相談窓口として機能しております。どうぞお気軽にご相談ください。

— 入院までの流れ —

医療機関からのご紹介

患者さま・ご家族・ケアマネージャー等
からのご相談



1

地域連携室
入院・ご相談の受付



096-378-1120

2

診療情報提供書のご提出

現在の主治医から診療情報提供書(紹介状)を郵送または、FAXでご提出ください。



3

入院判定

多職種の職員による入院判定会にて当院でお引き受け可能かどうかを判定し、速やかにご紹介元にお返事いたします。

4

入院前面談・見学

透析、緩和ケアを希望の方や、それが必要だと判断された方には事前に面談を行います。また、病院の見学対応も行ってまいります。

5

ベッド調整

準備が出来ましたら地域連携室職員からご紹介元へご連絡いたします。



6

入院



地域連携室 藤岡美和

地域とともに「生きるを満たす。」

地域包括ケア病棟で専任の医療ソーシャルワーカーをしております藤岡です。当病棟は急性期からの転院だけでなく、在宅や施設から軽度～中等度の疾患の患者さまも受け入れる病棟です。多職種で限られた入院期間のなか在宅復帰支援をしております。地域の先生方や介護・福祉関係者、行政の皆様とは連携させていただく機会が多く、日々円滑な連携・調整に感謝いたします。今後も患者さまやご家族の意向に添いながら、地域とともに「生きるを満たす。」を実現できるよう支援をしてまいります。

— [地域連携室の方針「生きるを満たす。」とは] —

- ① 退院の先にある「生活」を見据える
- ② 患者さまの権利を守り、自己決定を支え実現する
- ③ 自分らしい「生き方」を支える
- ④ 患者さまのストーリー(人生)に責任を持つ

医師紹介



脳神経外科
院長
倉津 純一



脳神経外科
院長補佐
三原 洋祐



脳神経外科
特別顧問
竹島 秀雄



脳神経外科
賀未 藍子



脳神経外科
北村 伊佐雄



消化器内科
瀬上 一誠



呼吸器内科
副院長
地域連携室室長
吉永 健



呼吸器内科
青木 志保



リウマチ
膠原病内科
院長補佐
中村 正



内科
副院長
坂本 興美



内科
石原 まゆみ



腎臓内科
白石 直樹



腎臓内科
藤本 歌織



循環器内科
医局長
森上 靖洋



循環器内科
藤井 裕己



循環器内科
伊藤 彰彦



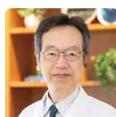
外科
特別顧問
池田 信二



外科
院長補佐
蓮尾 友伸



外科
坂本 英世



外科
久米 修一



糖尿病内科
西田 佳子



泌尿器科
上級顧問
吉田 正貴



整形外科
島田 政博



整形外科
甲斐 信



リハビリ
テーション科
川崎 真



放射線科
古閑 幸則



消化器外科
佐野 収



緩和ケア
吉本 美和



小児科
中村 俊郎



訪問診療
吉田 大輔

病院概要

■ 診療科目 19科目

内科	放射線科	リハビリテーション科
循環器内科	脳神経外科	麻酔科(蓮尾友伸・坂本英世)
呼吸器内科	脳神経内科	消化器外科
消化器内科	整形外科	皮膚科
リウマチ科	外科	精神科
糖尿病内科	小児科	
泌尿器科	小児外科	

■ 総病床数 630床

回復期リハビリテーション病棟 60床
地域包括ケア病棟 45床
障害者施設等一般病棟 163床
緩和ケア病棟 25床
特殊疾患病棟 60床
医療療養病棟(在宅復帰強化型) 277床

■ 施設の特徴

- 在宅療養後方支援病院
- 脳卒中リハビリセンター
- 呼吸器センター
- 血液浄化センター
- リハビリテーションセンター
 - ↳ 心大血管疾患リハビリテーション
 - ↳ 脳血管疾患等リハビリテーション
 - ↳ 運動器リハビリテーション
 - ↳ 呼吸器リハビリテーション



医療法人 桜十字

桜十字病院

外来受付時間

【平日】午前 9:00 ~ 12:00 午後 1:00 ~ 5:00

【休診】土曜日・日曜日・祝日・年末年始

URL : www.sakurajyujin.or.jp

